

DATA 戸馳大橋

路線名

市道 黒崎内潟線

位置

旧戸馳大橋の東側に位置
宇土半島を走る国道266号と戸馳島を結ぶ
モタレノ瀬戸をまたぐ

橋長

295m

旧橋は、
歩道なしの
車道幅員5.5m

幅員

車道 7.0m 歩道 2.5m

形式

上部工 鋼5径間連続 PRC 床版合成2主1桁橋

下部工 逆T式橋台 2基(A1・A2)

張出し式橋脚 4基(P1-P4)

基礎工 直接基礎(A1・A2)

ニューマチックケーソン基礎(P1・P4)

鋼管矢板基礎(P2・P3)

VOICE 工事の担当者からの声

さんしゅう 三洲建設 株式会社 ひかる 北岡 光 さん



子どもたちの安全を

私は、鋼管矢板基礎の橋脚工事の現場監督を担当しました。子どもたちが安心して通行できるようにとの思いを込め、しっかりと固定された土台になるように、地下50mの深さまでくいを打ち、P2橋脚を作りました。海上での工事は、陸上とは異なり、材料を船で運搬し、限られた時間の中で作業を行わなければなりません。浸水しないようにするなど、緊張感が続く現場でしたが、貴重な経験ができました。生活に密接な橋の工事に携わることができたこと、わが子たちが建設業に興味を持ってくれたこともうれしかったことの一つですね。

車の運転もしやすく、歩行者の安全も守られるようになった戸馳大橋。これからも地域に親しまれたらと思います。



46年ぶり新しく



平成25年度 橋脚工事



平成26年度 橋台工事



戸馳大橋架け替え

3月30日、架け替え工事を進めていた三角町の戸馳大橋が6年間の工事期間を経て、開通しました。新しい橋は、全長295m。車道幅員7mの片側1車線で、歩行者も安全に通行できるように幅2.5mの歩道も整備されています。総事業費は約40億円。

工事に至るまで

これまでの戸馳大橋は、昭和48年の架橋から46年間、宇土半島と戸馳島を結ぶ、唯一の海上橋梁として島民や周辺住民の生活を支えてきました。

しかし、時の経過とともに老朽化が進み、大規模地震に対する耐震性能が不足するなど、問題を抱えるようになりました。また、交通量が増えていたにも関わらず、歩道は未整備のまま。歩行者の安全確保が課題でした。

完成までの経過

事業開始は9年前。平成21年度に橋梁の予備設計が始まりま

した。国や県をはじめとする多くの関係機関と協議・調整を重ねて、平成25年度から橋脚工事に着手。平成26年度からは橋台工事も平行して始まり、平成28年度には上部工(橋桁を架ける)工事へ。平成30年度に仕上げとなる舗装工事を行い、完成に至りました。



工事動画 movie 工事現場 現場工事



平成29年度 上部工工事



平成30年度 舗装工事

